



山口大学大学院医学系研究科

The 3rd Life Science Seminar in Yamaguchi

(第23回分子生物学セミナー)

ストレス応答：生体の恒常性維持の機構

一般
公開

日時：2009年5月26日 17:00-19:00

会場：医学部霜仁会館3階

I. 一般講演

座長 山口大学器官解剖学分野 大和田祐二先生

17:00-17:20

♪蛋白質の恒常性維持♪

熱ショック転写因子による蛋白質恒常性維持の分子機構

山口大学大学院医学系研究科医化学分野 林田直樹 先生

17:20-17:40

#脂質の恒常性維持#

神経・免疫系における脂肪酸結合蛋白質の機能

山口大学大学院医学系研究科器官解剖学分野 徳田信子 先生

17:40-18:00

♪酸素と恒常性維持♪

低酸素刺激に対する血管系の反応

山口大学大学院医学系研究科病理形態学分野 池田栄二 先生

II. 特別講演

座長 山口大学医化学分野 中井彰 先生

18:00-19:00

♪鉄代謝と恒常性維持♪

細胞の鉄代謝におけるミトコンドリアの重要性

大阪大学大学院医学系研究科医化学分野 岩井一宏 先生

細胞を構成する成分の恒常性を維持する機構はすべてストレス応答ととらえることができ、その破綻が細胞機能異常、さらには疾病の発症へつながります。本セミナーでは、主要な恒常性維持機構と疾病について研究している先生方に講演をしていただきます。特別講演の岩井先生のグループは、鉄代謝制御系とその異常の研究、ならびにユビキチン修飾系による細胞機能制御メカニズムの研究で先駆的な研究を展開しています。皆様のご参加をお待ちしております。

山口大学大学院医学系研究科 主催